

令和7年度 福井南特別支援学校 学校関係者評価書

(問) (1)学校評価の目標に対する成果(達成度)や結果の分析は適切か。
(2)その他(学校運営全般に関する御意見など)

(意見を聞いた方)

学校関係者評価委員:保護者代表4名、同窓会保護者代表1名、福祉事業所代表1名

(意見欄)

(1)目標に対する成果および結果の分析について

○人権教育・生徒支援

・高等部生徒に対してSNSの利用についての指導をしているとのことだが、スマートフォンを持つ子の低年齢化が進んでいると聞く。小中学部でもスマートフォンを持っていたり、SNSを利用していたりする児童生徒がいる場合は、実態に合った指導・支援をお願いしたい。

・パーソナルスペースについて指導する取組が参考になった。福祉事業所でも、人との関わり方について、視覚化しながら支援していきたい。

○進路支援

・進路を考える際に、相談支援専門員と相談しながら進めていると思うが、新しい事業所が続々とできていく。引き続き情報収集をお願いしたい。また、就労選択支援サービスが新しく始まったことに関連して、学校の進路支援の取組も更新されたのではないと思う。

○保健・安全

・福祉法人にはBCP(業務継続計画:災害などの緊急事態が発生したときに、損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画)が義務付けられているが、学校においても、ライフラインを復旧させるということは重要だと思う。

・車椅子を使用している児童生徒の避難訓練では、防火扉を開けるのも大変だと聞いたことがある。

○ICTの活用

・ICTの活用についての教職員の取組の成果として、生成AIに関する知識を深めることができたことが挙げられており、先生方も業務の中で生成AIを活用されていることを知った。少しでも業務が軽減されるとよい。

(2)その他(学校運営全般について)

・学校評価という取組が良いと思う。保護者も安心できる。今後も継続してほしい。

・積雪のとき、徒歩通学や自転車通学の生徒は困っているのではないかと心配している。

・日ごろから、子どもに丁寧に関わっていただき感謝している。今後も家庭と連携して子どもの成長を支えていただきたい。

・日ごろから、連絡帳で様子を知らせていただき、ありがたく思っている。実習先を考える際、事業所のホームページなどでは具体的に分からない部分が多いので、先生方からのアドバイスに加え、実際に実習をした生徒の体験談を教えてもらえるとイメージが持ちやすいと思う。

・SNS利用についてなど、我が子も含めて丁寧に指導していただき感謝している。心のケア相談で相談に乗っていただけるとありがたいので、今後も続けていただきたい。いつも、子どもが一人でスクールバスを待っているが、降雪時の遅延情報について、子ども自身がスマートフォンで確認できるようにしていただくとありがたい。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

○スマートフォン・SNSの利用に関する指導について

・現在、小学部でスマートフォンを持っている児童はおらず、中学部には若干いるという状況である。高等部では、持っている生徒を学校で把握した上で、学校では担任が預かったり、外部の専門家を呼んで使い方の講習会を行ってその都度新しい情報を子どもたちに届けられるようにしたりするなど、全体的な指導を行っている。子どもたち同士の中に問題が埋まっていることもあるかもしれないので、保護者と情報共有しながら指導していきたい。

○就労支援選択サービスについて

・高等部1年生・2年生の説明会で、就労選択支援サービスについて保護者の方に説明するよう努めている。次年度については福井市と丹南地区に分けて説明会を実施する予定である。県や福祉の方とのやりとりを十分にしながら、校内でも、全体的に知らせる場と、個々に伝える場など、計画を細かく見直して保護者に伝えることができるように準備している。進路指導担当教員だけでなく、全学部の教職員が学んでいかなければいけないと思っている。事業所の皆さんとも情報共有させていいただきながら進めていきたい。

○災害時の対応や、避難訓練の想定について

・本校の危機管理マニュアルを、「復旧」の視点を含めて事務などと連携しながら考えていきたい。また、階段が上げられない児童生徒の垂直避難など、いろいろな場面を想定して訓練を行う必要があると感じている。